

# 温州みかん(成木)

【令和6年1月1日現在の農薬登録内容】2024版

※ 太枠は重要防除です。

月(時期)	対象病害虫	区分	使用農薬(倍率)
12月下旬 ～ 1月中旬	ミカンハダニ カイガラムシ類		アタックオイル 60倍又は ハーベストオイル 60倍又は スプレーオイル 60倍
3月中旬 ～ 3月下旬	かいよう病		コサイド3000 1000倍 クレフノン 200倍 (薬害軽減のために加用する)
			注) この時期に散布出来なかった園は4月上中旬にコサイド3000 2000倍(クレフノン200倍加用)又はイデクリーン水和剤500倍(クレフノン200倍加用)散布する。
4月上旬	ミカンハダニ		アタックオイル 100倍又は ハーベストオイル 100倍又は スプレーオイル 100倍
			注) 3月散布の場合は80倍。冬季に散布した場合は不要。カイガラムシ類を多く見かけた場合は 4月上旬にアブロード水和剤1000倍をマシン油に加用し散布する。
4月上旬 ～ 4月中旬	そうか病	劇	デランフロアブル 1000倍又は イデクリーン水和剤 500倍 (クレフノン200倍加用)
			注) デランフロアブルは、かぶれやすいので注意する。また、かぶれる人はイデクリーン水和剤を使用する。そうか病は、新芽が出揃った時期に散布する。前年多発園では必ず散布する。イデクリーン水和剤はマシン油乳剤との混用およびマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布を行わない。
5月中旬 ～ 5月下旬	灰色かび病・そうか病		フロンサイドSC 2000倍又は ストロビードライフロアブル 2000倍
	コアオハナムグリ	劇	モスピラン顆粒水溶剤 4000倍
			注) 灰色かび病防除は満開から落弁期にかけて散布する(多発園は2回)。フロンサイド使用回数1回 訪花害虫多発園では2回以上散布する(3分咲きと満開時期)。そうか病多発園ではフロンサイドSCを散布。かぶれに注意する。
6月中旬 ～ 6月下旬	黒点病		ジマンダイセン水和剤 600倍
	ミカンハダニ カイガラムシ類		アタックオイル 150倍又は ハーベストオイル 150倍又は スプレーオイル 150倍
	ミカンサビダニ アザミウマ類	劇 劇	ハチハチフロアブル 2000倍又は コテツフロアブル 6000倍
			注)すす病はアブラムシ・コナジラミ・カイガラムシ類の排泄物に繁殖したカビが原因であり、害虫の防除が重要になる。カイガラムシ類の多発園ではアブロードエースフロアブル1000倍を6月上旬に散布する。アブロードエースフロアブルはミカンサビダニにも効果有り。 注)ミカンナガタマムシ・ゴマダラカミキリ成虫の発生園では、エクシレルSE 5000倍を散布する。
7月下旬 ～ 8月中旬	黒点病		ペンコゼブ水和剤 600倍又は ジマンダイセン水和剤 600倍
	カイガラムシ類 チャノキイロアザミウマ		コルト顆粒水和剤 3000倍
	ミカンハダニ ミカンサビダニ アザミウマ類 ミカンハモグリガ	劇	メビウスフロアブル 3000倍
8月下旬 ～ 9月上旬	黒点病		ペンコゼブ水和剤 600倍又は ジマンダイセン水和剤 600倍
	ミカンハダニ ミカンサビダニ		ダブルフェースフロアブル 3000倍 又は ダニゲッターフロアブル 2000倍
	ヤノネカイガラムシ チャノキイロアザミウマ		スタークル顆粒水溶剤 2000倍
9月下旬 ～ 10月中旬	カメムシ類	劇	スタークル顆粒水溶剤 2000倍又は ロディー乳剤 2000倍
10月下旬 ～ 11月上旬	ハダニ類		オマイト水和剤 750倍
11月中旬	貯蔵病害 (青かび病、緑かび病、軸腐病)	劇	ベフトップジンフロアブル 1500倍又は トップジンM水和剤 2000倍
			注) 降雨が多い年は再度腐敗防止の散布をする。

※マシン油とは、ハーベストオイル、アタックオイル、スプレーオイル等の総称です。

散布量は500～600 $\frac{g}{10a}$ を目安にタツリ散布する。

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」